

2. 場内の地質踏査で分かった事実

これまで採石場内の踏査については、事業計画者からの調査許可が下りなかった為に場外で確認された地質・地質構造の広がり不確かであった。

今回の調査で次の点が明らかになった。

- ①.北側尾根の斜面で確認された破碎帯を伴う断層が場内でも確認され、場内外に広がりを持って分布する事が分かった。Ph2.1,2.2
- ②.最下段北斜面の湧水の箇所に温泉地の湧出口で見られる「バイオマット」の繁殖が確認された。この確認箇所の湧水は、周辺の河川水の電気伝導度よりもかなり高い点も明らかになった。
.....Ph2.4
- ③.最下段西側の斜面には、畳を立てたように断層の大規模な擦痕が明瞭に確認された。
.....Ph2.3
- ④.南側最下段の溜まり水の水質の中に海水の基本的な構成イオンである「Na+」と「CL-」が異常な濃度で確認された。
- ⑤.場内湧水の電気伝導度が、周辺の河川水の値と比較して非常に高い事が分かった。



Ph2.1 北東斜面最下段の断層

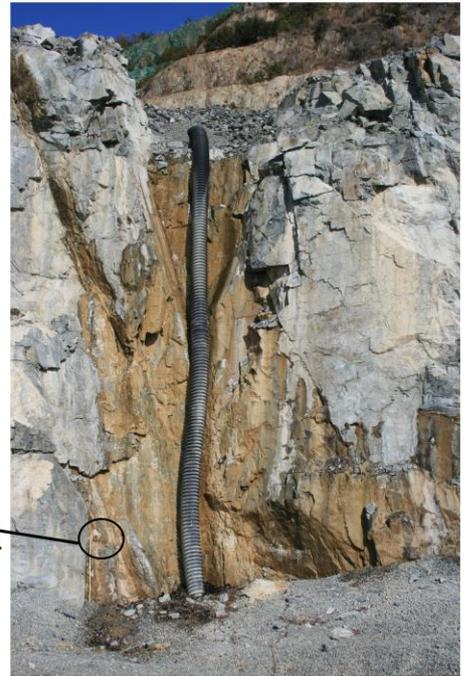


Ph2.2 北斜面中段の断層



Ph2.3 西側斜面最下段の断層の擦痕

湧水付近に生殖したバイオマット



Ph2.4 北側斜面最下段の湧水箇所に見られるバイオマット

この中で Ph2.3 の大規模な「断層擦痕」は業者側の調査報告ではなかったものであり、Ph2.4 の「バイオマット」の存在も同様である。